

全国学力・学習状況調査には、国語、算数・数学等の学力調査の他、児童・生徒質問紙および学校質問紙があります。この質問紙調査では、児童生徒の学校や家庭における学習状況や各学校での指導の様子がわかります。

質問紙調査の結果分析より《児童・生徒質問紙》

【学習に対する関心・意欲・態度】

★教科の勉強が好きですか。

★教科の授業の内容はよく分かりますか。

《小学校》

《小学校》



★教科の勉強が好きですか。

《中学校》



★教科の授業の内容はよく分かりますか。

《中学校》



小学校では、国語の勉強が「好き」と回答した児童が前回より増加しており、全国平均、県平均ともに上回っています。算数の勉強が「好き」と回答した児童は、前回より減少しているものの、全国平均と比べると高い数値になっています。理科の勉強が「好き」と回答した児童は、全国平均、県平均と比べると低い数値になっています。また、授業の内容が「よくわかる」と回答した児童の割合は、国語は全国平均を大きく上回り、算数では前回より減少しているものの、全国平均より上回っています。理科では県平均とほとんど変わらないものの、全国平均よりも低い数値になっています。全体的に、先生が一方的に教え込む講義型の授業から、子供たちの興味・関心を大切にした授業への授業改善が進んできた成果が表れてきていると思われます。

中学校では、国語の勉強が「好き」と回答した生徒が前回より大きく増加し、全国平均とほとんど変わらず、県平均よりも上回っています。数学の勉強が「好き」と回答した割合は前回よりも減少し、全国平均、県平均より低い数値となっています。理科の勉強が「好き」と回答した生徒は、全国平均、県平均よりも低い数値となっています。授業の内容が「よくわかる」では、国語では全国平均、県平均より高く、数学では全国平均、県平均よりも低い数値となっています。理科では、県平均とほとんど変わらないものの、全国平均と比べると低い数値になっています。生徒の興味・関心に目を向けた授業への転換を進めていますが、今後、さらに生徒の興味・関心を高めながら、学習内容を習得できるよう取り組んでいく必要があります。

【学校の指導・取組】

★課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいましたか。



★自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。



★話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。



『児童生徒が目的意識を持って主体的に活躍できる授業づくり』によるグループワークや、言語活動の充実等の取組みの成果が表れてきています。小学校においては、「資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表する」や、「話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりする」ことが昨年度よりも数値が高くなっており、全国平均、県平均とほとんど変わらない数値になっています。今後も『児童生徒が目的意識を持って主体的に活躍できる授業づくり』の取組みを継続していきます。

【児童生徒の規範意識】

★自分にはよいところがあると思いますか。



★人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



★いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。



「自分にはよいところがあるか」の項目については、小中学校ともに全国平均、県平均を大きく上回りました。

「人の役に立つ人間になりたいか」の項目については、小中学校とも全国平均を上回りました。

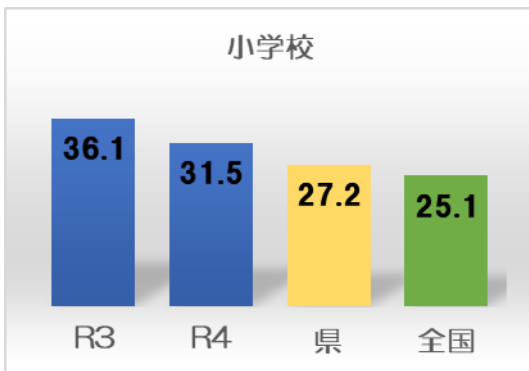
「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という項目では、小中学校とも全国平均を大きく上回っています。各校、学校全体で子供たちのいじめに対する日頃の取組の成果が表れてきています。しかし、「いじめは、どんな理由があってもいけないこと」と思わない児童生徒もいることから、今後さらなる取組が必要であると考えられます。

【家庭学習・社会への関心】

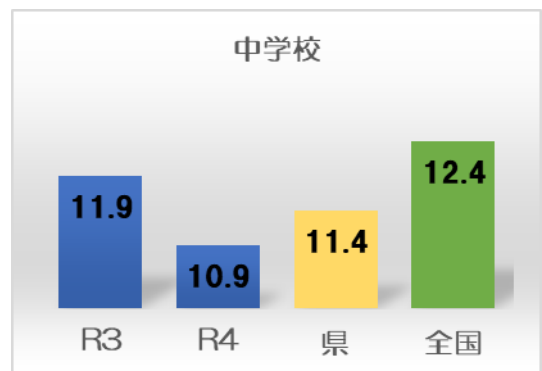
★家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。(学校の授業の予習や復習を含む)



★学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）※2時間以上の割合



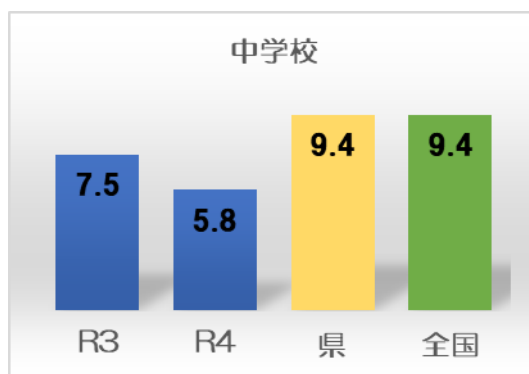
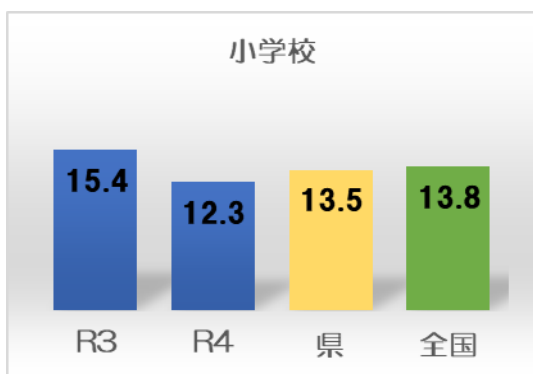
★学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。
（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）※1時間以上の割合



★地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。



★新聞を読んでいますか。 ※週に1～3回以上の割合



「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」の項目については、小中学校ともに昨年度より数値は低くなり、全国平均を下回っています。しかし、平日の勉強時間については、小中学校ともに昨年度から低くなっていますが、全国平均、県平均を上回り、中学校では県平均を大きく上回っています。今後も家庭学習の定着について、内容などを含め継続して取り組んでいくことが必要です。

「1日当たりの読書時間」「新聞を読む頻度」については、全国的にも課題となっていますが、本市でも年齢が上がるにつれ数値が低くなっており、活字離れが大きな課題となっています。